

がん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ」

～一人で悩まないで。仲間がここにいます。～

日本対がん協会は、地域全体でがんと闘う社会づくりを目指し、がん患者や家族、支援者、地域の人々と共にがん征圧を目指すがん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ」を全国で主催しており、岐阜県教育文化財団(日本対がん協会岐阜県支部)も岐阜県で行われている「リレー・フォー・ライフ・ジャパン岐阜」への協力を行っています。

1985年にアメリカではじまり、現在では世界25カ国約6,000カ所で開催されています。

日本では、2006年茨城県つくば市での開催からスタートし、2015年は国内47カ所で開催されました。

岐阜県では、2009年に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン中部」として初開催した後、2012年から毎年開催されています。

「リレー・フォー・ライフ」は、昼夜眠らないがんにちなんで、がん患者や家族・支援者らでチームを組んでリレーウォークし、がんに負けない勇気と希望を分かち合うチャリティイベントです。もちろん、参加形態はチームだけでなく個人でも参加できます。

また参加方法は、ウォークだけではなくありません。

がんで亡くなった方を偲び、現在がんと戦うがん患者の勇気を称える『ルミナリエバック』にあなたの想いをお書きください。想いの添えられたルミナリエバックは会場トラックなどに配置されます。夜にはバックの中に入れられたキャンドルが灯され会場を彩ります。

またイベントを支えるボランティアや実行委員としても参加ができます。当日の参加は難しいという方は、寄附という参加方法もその一つです。

このイベントで集められた参加寄附、ルミナリエバックで寄せられた寄附は、日本対がん協会に寄附され、がん医療の発展やがん患者支援活動等に役立てられています。

イベント会場には、あなたと同じ思いをしたサバイバーやケアギバーがいます。

リレー・フォー・ライフは多くの仲間と出会える場です。あなたは決して一人ではない。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

→ **リレー・フォー・ライフ・ジャパン岐阜** (<http://rfl-chubu.net/gifu/>)

→ **日本対がん協会「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」** (<http://relayforlife.jp/>)



——「サバイバー」、「ケアギバー」とは——

リレー・フォー・ライフでは、がんの告知を受けたことのある人を「サバイバー」と呼び、その勇気を称えます。がんになり命の大切さや生きるすばらしさをサバイバーは知っています。

また、サバイバーを支える全ての人を「ケアギバー」と呼びしています。

——「リレー・フォー・ライフ」とは——

1985年にアメリカ人外科医が「がんは24時間眠らない」、「がん患者は24時間闘っている」というメッセージを掲げて、がん患者の勇気を称え支援するために走りました。今や世界24カ国で開催され、毎年、世界中で400万人を超える人々が参加しています。日本では、2006年に開催されてから日本対がん協会と各地のボランティアでつくる実行委員会が開催しています。